

調布市社会福祉協議会の事業総括

引き続き新型コロナウイルスの影響と令和4年2月に開始されたロシアによるウクライナ侵攻の長期化は、世界的にエネルギーや原材料価格の高騰につながり、私たちの日々の生活にも大きな影響を与えました。これらの出来事に戸惑い、改めて人と人とのつながりや地域のつながり、たすけあいの大切さ、必要性に気付きました。

調布市社会福祉協議会は、令和3年度に法人化50周年という節目の年を迎えていましたが、新型コロナウイルスの影響により延期していた記念式典を無事に令和4年度において開催し、調布の冬の風物詩であった調布市福祉まつりも、コロナ禍での実施内容を変更する中で、3年ぶりに調布駅前広場で行うことができました。

全体としては、感染対策を講じつつも地域の方を対象とした対面での事業が引き続き実施困難な状況がありましたが、時代の変化に対応した各種福祉サービスの提供をはじめ、地域での見守り、支えあい、つながりづくりなどに関する事業を創意工夫して積極的に展開しました。

また、新型コロナウイルスの影響によって大幅な減収影響を受けた世帯への救済制度である特例貸付の償還が始まり、生活状況が回復しない世帯の相談者に対しても寄り添い対応してきました。地域の皆様に安心してご利用いただける事業の実施に努め、それぞれの地域の思いを大切にしながら活動した1年といえます。

今後、地域活動計画の策定及び各事業の着実な推進とともに、地域の方々そしてさまざまな機関が関わり、多機関が協働して支援等を行う重層的支援体制整備事業の実施等、これからの福祉情勢を認識し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助けあいながら暮らしていける「地域共生社会」の充実に向けての取組を引き続き進めて参ります。